# 新

年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、長引くコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や急激な円安の進行が、市民生活や事業活動に大きな影響を及ぼした一年でした。そうした中で、本市を取り巻く状況を把握し、市民の皆さまの健康と生活を守り、地域経済の速やかな回復に向けて「適時適策」を念頭に対策を講じてきたところです。

未だ終息が見込めないコロナ禍の影響を受けながらも、事業者や市民の皆さまのご理解とご尽力により、地域経済が少しずつ回復に向かい、そして各種行事が久しぶりに集合方式で行われるなど、市民交流が取り戻されつつあるのを感じています。

ほかにも明るい話題としては、市制施行記念日である10月1日に、市の発展にご功労のあった方々の表彰式を挙行したほか、ＴＤＫ硬式野球部が都市対抗野球大会で準々決勝に進出し、地域に元気と勇気をもたらしたことや、木版画家池田修三氏の生誕百周年にあたり、多くの方々が作品に親しみ、本市を訪れていただいたことなどが印象に残っています。

さて、本市では少子高齢化・人口減少に対応した持続可能な地域社会の構築に向けて、「第2次にかほ市総合発展計画・後期基本計画」を昨年3月に策定しました。5か年計画の初年度である令和4年度は、「子育て支援」、「移住定住の促進」、「産業・観光振興」に重点を置いて取り組んできました。これらに加えて、私が公約の一番目に掲げている重要施策が、「若者が躍動するまち」です。

近年、社会課題を強く意識する若者たちが増えています。本市でも、若くして起業しビジネスでその解決に取り組んでいる事例や、市の若者１００人会議で多くの方々が事業の企画・立案に取り組んでいる姿をとても頼もしく感じています。こうした、地域の将来を担う若者たちを支え後押しするために、「若者福祉」の推進を加速させたいと考えています。

未来のにかほ市に夢をもち、次の世代に誇りをもって引き継ぐことができるよう「オールにかほ」で取り組みますので、市民の皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。

新しい年が皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことをお祈りいたします。

にかほ市長
**市川 雄次**

# 令

和5年の輝かしい新春を迎え、市民の皆さまに謹んでお慶びを申し上げます。

昨年4月には、定数を2人減としたうえで市議会議員選挙が行われ、16人の議員が新たな任期を迎えました。その中で、議員諸氏の選出により私が議長に就任いたしました。所信表明で訴えたことは、「『和』を大事に」ということです。昨年本格運用を始めたタブレット端末の活用を手始めに、さまざまな課題について議会改革を図りつつ、市民や行政、関係機関の皆さまとの「和」を大切にして、今年も充実した議会運営に努めて参ります。

令和4年の国内外の情勢は大きく揺らぎました。特に、ウクライナでの紛争が世界中の食料や資源の価格、流通に大きな影響を与え、物価高となって私たちの生活に波及しています。先行きが不透明な中でしたが、市議会として、多くの市民、多方面の生産者・事業者からの声を受け、市民の暮らしを守るため、支援の実施に向けて行政に働きかけを行って参りました。

一方で、感染拡大から3年目を迎える新型コロナウイルス感染症をめぐる状況は、感染者や医療機関等関係者の皆さまにとっては油断できない段階ではあるものの、昨年、市内小・中学校の修学旅行がコロナ禍以前の形で実施されたことは、たいへん喜ばしいことです。さらに、児童・生徒の各種大会等における文武にわたる活躍が広報紙上で紹介されるたび、多くの市民が励まされ力づけられたことでしょう。また、市内では花火大会や市民文化祭等のイベントが再開されるなど、人の流れにコロナ禍からの回復の兆しが見えてきた一年でもありました。加えて、地元代表であるＴＤＫ硬式野球部の3年連続都市対抗野球大会出場からの2回戦突破・8強入りは、私たちに誇りと希望を与えてくれました。

この勢いそのままに、「癸卯（みずのとう）」の文字どおり、社会や経済が成長し跳躍する一年となることを期待します。

にかほ市議会は、これからも市民が安心・安全に暮らせるまちづくりのため、信頼され開かれた議会として市政に対するチェックと政策立案の機能強化を図り、皆さまの負託に応えられるよう努めて参りますので、昨年同様皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

市民の皆さまにとって令和5年が良い年になりますよう、ご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

にかほ市議会議長
**宮崎 信一**